



学校便り 2024 No. 9

令和6年6月17日

出水南小

校訓: やさしく かしく たくましく

発行: 校長 塩山 武陵

「夏の交流集会」がおこなわれました。



6月14日、夏の交流集会が行われました。これはとなりの熊本支援学校の小学部の児童との交流を通して「ともに手を取り合う」ことを目的に行われています。4年生が中心となってパートナーの手を取り、学校の西側に面した交流門を通過して体育館に一緒に入場しました。「交流のめあて発表」「校歌の交換」「メッセージ交換」「レクリエーション」「交流の歌合唱」を行いました。「手をつなごう」(作詞:出水南小児童・作曲:熊本養護学校職員)を声高らかに歌う支援学校の児童と本校児童の姿や、暑い中体育館に整列したパートナーにうちわを扇ぎ、少しでも暑さを和らげようとする4年生の姿を見て、友情を深めることができたと感じました。

会の最後に熊本支援学校の上村校長先生から、本校の入学式のことをお話いただきました。熊本支援学校HP「校長室より」に詳しくありましたので掲載します。

<https://sh.higo.ed.jp/kumamoto-s/%E6%A0%A1%E9%95%B7%E5%AE%A4%E3%82%88%E3%82%8A>

入学式の式辞で、私はこう述べました。

…地域には身近に小学校や中学校、高等学校があり、子供たちは様々な活動を共にしながら豊かな心を育てています。この地域になくはない子供たち、学校となっているように思えます。…

その翌々日、隣にある出水南小学校の入学式で、6年生の代表の児童が新入生に向けて述べられた言葉に感動しました。

…私たちの学校は、隣にある支援学校と交流を行っています。私たちの学校の伝統です。楽しみにしててください。…

本校の子供たちも、地域の小学校、中学校、高等学校の子供たちも、皆、互いの存在を大切に思い合って学び、生活し、その積み重ねが、地域のなかにじっくり染み込むように行き渡っているのだと感じています。そういう地域の皆様とともに、子供たちを中心とした学校づくりを行っていきたいと思います。

本校と熊本支援学校の交流教育の歴史

- ・昭和55年(創立当初) 交流が始まる
- ・昭和56・57年 文部省指定 特別支援学校との理解教育推進校
- ・昭和58年3月 交流門設置(交流門前の横断歩道は創立10年(平成2年)の航空写真では確認できませんでしたので、それ以降に設置されています。)
- ・昭和58年3月 記念碑建立(交流マークは4年3組児童考案・担任岩崎先生)
- ・平成10年まで 約20年間にわたり校内研修(職員の研修)で特別支援教育理解を柱に
- ・令和6年 現在に至るまで交流学習が続けられている



昭和56年9月 養護学校 (9月)



交流教育の記念碑 (昭和58年3月20日)